

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

事業名	全国障害者スポーツ大会開催事業 (地方スポーツ振興費補助)			担当部局庁	スポーツ庁	作成責任者				
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	健康スポーツ課	健康スポーツ課長 和田訓				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	スポーツ基本法 (平成23年法律第78号) 第26条第2項及び第3項、第33条第1項			関係する計画、通知等	第3期スポーツ基本計画 (令和4年3月25日策定) 障害者基本計画 (第4次) (平成30年3月策定)					
主要政策・施策	障害者施策			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	スポーツ基本法 (平成23年法律第78号) の規定に基づき、都道府県が開催する全国障害者スポーツ大会に要する経費の一部を補助することにより、障害者のスポーツ参加を促進するとともに、国民の障害者スポーツに対する理解・関心を深める。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国障害者スポーツ大会の運営費の一部を補助金として開催都道府県へ交付する。 補助率: 定額 平成25年度まで厚生労働省で実施 (「身体障害者体育等振興」事業番号: 760) 令和元年度は、台風19号の影響により、大会は中止となったが、開催準備に係る経費として執行。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により鹿児島県での開催は令和5年度に延期となったが、開催準備に係る経費として執行。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、三重県での開催は中止となったが、開催準備に係る経費として執行。									
実施方法	補助									
予算額・執行額 (単位: 百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算の状況	当初予算	81	81	85	85	85			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		81	81	85	85	85			
	執行額		81	81	85					
	執行率 (%)		100%	100%	100%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		100%	100%	100%					
令和4・5年度予算内訳 (単位: 百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	地方スポーツ振興費補助金	85	85							
	-	-	-							
	-	-	-							
	-	-	-							
	-	-	-							
	計	85	85							
活動内容 (アクティビティ)	都道府県が開催する全国障害者スポーツ大会に要する経費の一部を補助する。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	全国障害者スポーツ大会開催県の支援	補助自治体数	活動実績	県	1	1	1			
			当初見込み	県	1	1	1	1	1	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	全国障害者スポーツ大会への補助金額 (百万円) / 補助自治体数			単位当たりコスト	百万円	81	81	85	85	
				計算式	百万円/開催数	81百万円/1	81百万円/1	85百万円/1	85百万円/1	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
	大会の参加者数の増加 ※R元は中止、R2は延期、R3は中止	大会の参加者数 (選手・監督・大会関係者)	成果実績	人	-	-	-	6年度	-年度	
			目標値	人	59,000	59,500	60,000	60,000		
			達成度	%	-	-	-			

根拠として用いた統計・データ名 (出典)		地方スポーツ振興費補助金実績報告書 ※令和元年度は台風19号により中止、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により鹿児島県での開催は令和5年度に延期となったが、開催準備に係る経費として執行。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により三重県での開催は中止となったが、開催準備に係る経費として執行。								
活動内容 (アクティビティ)		都道府県が開催する全国障害者スポーツ大会に要する経費の一部を補助する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	全国障害者スポーツ大会開催県の支援	補助自治体数	活動実績	県	1	1	1			
			当初見込み	県	1	1	1	1	1	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	全国障害者スポーツ大会への補助金額(百万円)÷補助自治体数			単位当たりコスト	百万円	81	81	85	85	
			計算式	百万円/開催数	81百万円/1	81百万円/1	85百万円/1	85百万円/1		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
	大会の観覧者数の増加※R元は中止、R2は延期、R3は中止	大会の観覧者数	成果実績	人	-	-	-	6年度	-年度	
			目標値	人	45,000	46,000	47,000	47,000		
			達成度	%	-	-	-			
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	地方スポーツ振興費補助金実績報告書 ※令和元年度は台風19号により中止、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により鹿児島県での開催は令和5年度に延期となったが、開催準備に係る経費として執行。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により三重県での開催は中止となったが、開催準備に係る経費として執行。									
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	11 スポーツの振興								
	施策	11-2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現		政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_11-2.pdf					
	取組事項	分野:	-		該当箇所	p.2-1～p.2-2				
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:			該当箇所					
<b>事業所管部局による点検・改善</b>										
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	評価	○	本大会は、障害者スポーツの推進、障害に対する国民の理解促進、障害者の社会参加の推進に重要な役割を果たしている。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	評価	○	スポーツ基本法において、国は開催経費の一部を補助することが明記されている。						
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	評価	○	本大会は、地域における障害者スポーツの普及に重要な役割を果たしており、当該大会の補助は、生涯スポーツ社会の実現のために必要かつ適切である。						
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	評価	-							
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	評価	無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。	評価	無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。	評価	○	補助金額については、経費の費目・使途の内容を厳正に審査して決定している。						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	評価	○	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となったが、交付した補助金については、大会実施に向けた準備経費として交付し、大会の開催に向けた取組を通して、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与する等、一定程度の成果をあげたものと考えており、単位当たりコストは妥当と考えている。						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	評価	-							
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	評価	○	費目・使途の内容を厳正に審査する。						
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	評価	-								
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	評価	-								
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	評価	○	大会は開催県持ち回りのため、前年度開催県からの引継事項等を有効に活用し、コスト削減や効率化に努めている。							

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	事業の目的にもある、国民の障害者スポーツに対する理解を深めるには参加者数の確保、観覧者数を上げることが重要である。結果的に中止となったが、開催に向けた取組を通して、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与する等一定程度の成果をあげたものと考えており、見合ったものとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	事業実施に当たっては、開催都道府県と協議し、真に必要な経費に対する補助となるよう精査しており、効率的かつ実効性の高い運用を行っている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	例年、活動実績はほぼ見込みに合ったものとなっていたが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止となったことから、参加者数、観戦者数ともに0となっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-
	事業番号		事業名	
				-
				-
				-
				-
点検・改善結果	点検結果	大会の開催に当たっては、国、開催都道府県、関係団体が連携して効率的な大会となるよう運用を行うとともに、事業の効率化の観点から、対象経費、内容を厳正に審査する。		
	改善の方向性	事業の効率化の観点から、対象経費、内容を厳正に審査する。		
<b>外部有識者の所見</b>				
外部有識者による点検対象外				
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>				
の事業内容改善	この事業は、台風やコロナウイルスの影響により大会自体の開催ができなかったこともあり、成果実績が把握できない状況が続いている。そのため次年度以降に向けて、より多面的な面から新たな成果目標・指標、活動目標を設定するなどして評価できるよう、検討をすべきである。また、実施できなかった都道府県に対する交付額について真に精査の上コスト削減に努めるべきである。			
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>				
執行等改善	積算単価の見直し等によるコスト削減を図る。			
<b>備考</b>				
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>				
平成23年度	(厚労-0458)			
平成24年度	(厚労-0401)			
平成25年度	(厚労-760)			
平成26年度	26-0033			
平成27年度	27-0326			
平成28年度	28-0304			
平成29年度	313			
平成30年度	314			
令和元年度	文部科学省	-	0309	
令和2年度	文部科学省		0311	
令和3年度	2021	文科	20	0335

